

飛騨地域の医療・行政関係者による新たな協議会の設立について

1. 飛騨地域の医療提供体制の現状と課題

広大な面積を有し、山間部である飛騨地域は、地域内の移動や大学附属病院等を有する都市部との交通アクセスに課題がある。さらに、医師をはじめとする医療の担い手が十分ではないことや、今後、人口減少に伴って患者数が減少していくことなど、医療機関を取り巻く環境は厳しくなっていくことが予測されている。

このような中で、飛騨地域の住民が、将来にわたり、安心して適切な医療を受けられるようにするために、持続可能な医療提供体制を維持・構築していく必要がある。

このため、飛騨地域の医療・行政関係者が、将来のあるべき医療提供体制について継続的に協議する場を設けることにした。

2. 新たに設置する協議会の概要

(1) 名称

飛騨圏域地域医療協議会（仮称）

(2) 目的

飛騨地域の住民が、将来にわたり、安心して適切な医療を受けられるよう、将来のあるべき医療提供体制（病院の役割分担、連携体制等）について協議すること

※合意内容を、県設置の飛騨圏域地域医療構想等調整会議に報告

(3) 構成員

高山市、飛騨市、下呂市、白川村、岐阜県

高山赤十字病院、久美愛厚生病院、飛騨市民病院、県立下呂温泉病院

高山市医師会、飛騨市医師会、下呂市医師会

(4) 設立予定日

令和7年9月以降

(5) 事務局

高山市医療保健部医療政策課